

## ●アウトドアのメッカ

霧島山系の中で最大の火口湖である「御池」は周囲約3<sup>キロ</sup>、最大水深一〇三<sup>メートル</sup>。湖面に高千穂峰を映し、バードウォッチング、フィッシング、森林浴など県内有数のアウトドアのメッカとなっている。

宮崎自動車道・高原インターから約九<sup>キロ</sup>。豊かな水と緑と野鳥に囲まれた環境は、自然の恵みがいっぱい。湖畔にあり、人気の高いのが「御池キャンプ村」。

目につくのは施設の充実。ログハウス風のキャビン（九棟）、バンガロー（三棟）、炊事棟、シャワー棟などが完備。遊歩道は四季それぞれの景観を見せ、敷地内の自然体験工作館では、木工教室などが開かれ、ネームプレートなども作ることができる。

湖畔には一九七二（昭和四十七）年、環境庁の指定を受けた「野鳥の森」も広がる。サンコ



神秘さをたたえた御池。楽しみ方、遊び方も多彩

ウチヨウ、アカシヨウビン、オオルリ、ヤイロチヨウなどが生息、一年を通してバードウォッチングを訪れる人が後を絶たない。

湖でのフィッシングも人気。冬のコイ、フナ、春からのハエ釣りが面白い。ときにはニジマスの大物も上がる。ボートをこぎながら、湖を探索するのも楽しい。いろんな楽しみ方、遊び方があるのが御池の特徴だろう。

高原町に隣接、都城市夏尾町にあるのが「御池少年自然の家」。野外研修を通して、子どもたちが自然の素晴らしさを体感している。

湖の一段高いところに護摩壇港（ごまだんこう）の窟（いわや）があり、両腕をけさに包み、座禅姿の柔和な微笑石像が座る。「性空（しょうくう）上人」である。

上人は天台僧で、霧島山に入山後、修行中は庶民とのかかわりも深く、菩薩道を地でいくよ

うな暮らしぶりだったと伝えられている。現在、霧島東神社の参道に「性空上人開山碑」があり、いつも花などが供えられている。高原の人たちにとって、時代を経た今でも「性空上人」は「性空さん」なのである。

同神社は高千穂峰の中腹、標高約五〇〇<sup>メートル</sup>にあり、眼下に御池が望まれる。朱塗りの社殿が映え、鹿児島県をはじめ、県内外から多くの崇敬者を集めている。

同神社では十二月第二土曜日、「葭川神舞（かんめ）」が行われる。四門を設け、その中央にヤタンバン（天がい）をつくる講庭のつくりは霧島修験の継承。剣舞の番付も多く、荒舞の勇壮さは心に残る。周辺の脇宿でふるまわれるそばの味も忘れがたい。

山口保明